

## 豊洲駅地下自転車駐車場



写真：① 地下自転車駐車場内部，② 自転車入出庫ゲート，③ 自転車駐車場出入口上屋，④ 自転車駐車場エレベーター上屋，  
⑤ 地下連絡通路，⑥ 地下連絡通路（自転車駐車場接続部）

（写真撮影：エスエス東京、中村絵写真事務所）

発注者：江東区土木部交通対策課  
 所在地：東京都江東区豊洲 2-24（豊洲駅交通広場）  
 整備概要：自転車駐車場  
 建築面積：126.87 m<sup>2</sup>（出入口上屋）  
 延べ面積：3279.00 m<sup>2</sup>  
 駐輪台数：2000 台、2 段式ラック：1800 台、平置き：200 台  
 構造：地下 1 階 RC 造、地上 1 階鉄骨造  
 昇降機設備：エレベーター 1 基  
 搬送機設備：自転車用搬送機 6 基  
 換気設備：第 3 種換気  
 地下連絡通路  
 延べ面積：420.50 m<sup>2</sup>  
 昇降機設備：エスカレーター 2 基  
 業務範囲 基本設計、実施設計、工事監理  
 竣工 2015 年 3 月

豊洲地区の開発等による人口の急激な増加に伴い、自転車需要が大幅に増加することが予測されることから、地下鉄有楽町線及びゆりかもめ豊洲駅周辺における放置自転車の発生防止と歩行者の安全確保を図るため、豊洲駅交通広場の地下部に自転車駐車場を整備するものである。

自転車の入出庫方法はゲート式を採用し、定期利用者には自転車に IC タグを取付けることで定期券等を取り出す必要がないスムーズな入出庫を可能にしている。

また、地下自転車駐車場の整備に併せて地下連絡通路を一体整備し、有楽町線豊洲駅及び今後開発が計画されている 2 街区再開発側に接続されることで、利用者の利便性向上を図っている。

地下自転車駐車場の整備とともに地上交通広場の更新整備も行う。交通広場に隣接した開発街区は交通広場と連続しているため、周辺街区と一体的に繋がる交通広場空間とすることを基本方針とした。